



2018年12月27日

各位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラビ テクス研究所  
 代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
 (コード番号:4576)  
 問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
 TEL 052-218-8785

特別損失（固定資産の減損損失、関係会社株式評価損）  
 並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年12月期において、特別損失として連結子会社における固定資産の減損損失（連結）及び関係会社株式評価損（個別）を計上することといたしました。

また、最近の動向を踏まえ、2018年7月26日に公表した業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結子会社における固定資産の減損損失（連結）

当社の連結子会社である日本革新創薬株式会社において、事業計画に対する進捗が当初計画を大きく下回る推移となり、今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社が保有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失6,820千円を特別損失に計上することといたしました。

2. 関係会社株式評価損（個別）

上述の背景を踏まえ、当社が保有する同社株式の実質価額が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき、関係会社株式評価損304,799千円を特別損失に計上することといたしました。

なお、個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 業績予想の修正

(1) 2018年12月期通期連結業績予想数値の修正（2018年1月1日～2018年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表 (A)	360 ～400	△830 ～△800	△840 ～△810	△760 ～△730	△28.94 ～△27.80
今回修正予想 (B)	260 ～300	△785 ～△745	△795 ～△755	△750 ～△710	△28.55 ～△27.03
増減額 (B - A)	△100	45 ～55	45 ～55	10 ～20	

増減率（％）	△27.8 ～△25.0	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2017年12月期）	254	△633	△668	△1,563	△59.89

（2）2018年12月期通期個別業績予想数値の修正（2018年1月1日～2018年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表（A）	350 ～390	△630 ～△600	△630 ～△600	△23.99 ～△22.85
今回修正予想（B）	250 ～290	△670 ～△630	△970 ～△930	△36.93 ～△35.40
増減額（B－A）	△100	△40 ～△30	△340 ～△330	
増減率（％）	△28.6 ～△25.6	—	—	
（ご参考）前期実績 （2017年12月期）	245	△557	△1,496	△57.31

（3）修正の理由

（連結業績予想）

売上高につきましては、眼科手術補助剤DW-1002（日本の白内障手術時の水晶体前嚢染色を対象）のライセンスアウトによる契約一時金の計上を予定し、昨年度より提携候補先と交渉を続けてまいりましたが、当事業年度中には契約締結できない見込みとなりましたので、これを主たる要因として売上高を下方修正いたしました。今後も早期ライセンスアウトを目指して、継続的に注力し取り組んでまいります。

一方、費用につきましては、前回策定した計画のうち研究開発費等の費用削減の効果から、損失が計画値に比べて縮小する見込みです。

（個別業績予想）

売上高、経常利益の下方修正については上記連結業績予想の修正理由と同じ理由になります。加えて、上記2に記載のとおり特別損失を計上することから、当期純利益を下方修正しております。

（注）上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上